

議会だより みなかみ

王者の風格

みなかみで生まれた
ヘラクレスオオカブト



令和3年(2021年)
7月15日発行

67号

6月定例議会

特集	2
臨時議会(4月)	4
本会議審議内容及び結果	5
一般質問	7
この町あるある	14

特集

SDGs

わたしのこころがけ



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

表紙写真: 14ページ参照

ヘラクレスオオカブト: 世界最大のカブトムシ。最大個体は全長180mm以上に達する。

エスディージーズ

SDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

わたしのこころがけ



相俣
おさかべ そういちろう
長壁総一郎さん
さやか
早也花さん

所属する自伐型林業などの活動時に出た、間伐材の枝葉を原料に精油の製造をしています。使用する水は湧水、熱源は間伐材を薪として使用することで、化石燃料の削減を意識したモノづくりを心掛けています。

蒸留後の枝葉は、畑や庭のマルチング材として地域の人に再利用してもらうことで、森林資源を最大限循環させることを目指しています。



環境省 谷川管理官事務所 増田多美さん
ますだ たみ

私は名刺に使用済みポスターやカレンダーを使用しています。

小さい頃から自然や生き物が好きで、大学では環境共生学を学びました。

自然環境を守るために、紙の再利用による廃棄物の削減、紙の製造に由来するCO₂排出量の削減につなげられたらと思っています。

意外と身近なことがSDGs目標達成への第一歩だと思います。

SDGs、何のことかイマイチ分からない…。こんなご意見もありますね。以前の議会だよりで、「SDGsは遠いところにあるのではなく身近にあります」とお伝えしました。

今回はSDGsをわたしごとに行っている方々を紹介します。皆さんの行動はどんなゴールへ向かっているのでしょうか。

3人制プロバスケットボールチーム

MINAKAMI TOWN.EXE

(ミナカミ タウン ドット エグゼ)

「スポーツは人生を変える」「スポーツで社会を変える」「スポーツで世界がつながる」「スポーツで未来を創る」スポーツ庁の掲げる4つの基本方針です。

スポーツは全世界共通、言葉が通じなくても一緒に盛り上がり、悲しんだり、感情を共有できます。人種やジェンダーも経済的格差も関係ありません。

国境を超えた絆を作り、社会の課題を解決し、より豊かな社会の形成において、スポーツは最も重要な役割を担っています。



月夜野
あべ まさし
阿部正志さん



まずは自分のできることから始めて行くのが大切だと思っています。会社の近くでゴミ拾いを定期的に行ったり、趣味の登山では必ずゴミ袋を持ち、落ちているゴミを拾うようになりました。

また、服や登山ウェアを購入する際、そのウェアの縫製に関わった皆さんへ報酬が支払われる「フェアトレードサーティファイド」製品を選ぶようにしています。

藤原
くもこしとしお
雲越利雄さん



みなかみ町は水のふるさと。利根川の最初の一滴はこの町で生まれ、下流に住む全ての人、動物、植物を潤しています。皆さんのために清流と森林を守りたいです。

月夜野
しおのてつや
塩野哲也さん



SDGsとの出会いは2019年。その重要さと自分の無知を知り、今までの教育のあり方を考え直す良き機会となりました。

現在、普及ファシリテーターとして関東エリアを中心に活動中です。

大切なのは自分との関わりを感じる。そして、そのスタートポイントになるのは「知ること」SDGs2030カードゲームを通して、どなたでも関われる場作りを提供中です。

湯原
きのした たつし
木下達志さん



体を鍛えています。1人でも多く健康でいられたら、医療費は安くなるかも…。

綿のTシャツは古くなったらパジャマ、最後は雑巾に。石油由来のパジャマも減らせるし、雑巾を買わないので綿生産国の農業用水を減らせるかも。

ちょっとしたことが未来につながる「かもしれない」と考え、より良い方法を探しながら行動していこうと思います。

高日向
おおつか まきこ
大塚満喜子さん



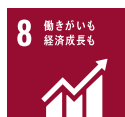
自宅前の畑が獣のすみかになっていました。この荒地をどうにかしようと、15年前に手入れを始め、今やっと心地よい花畑となりました。そのことがきっかけで、町の自然の豊かさを再認識するようになりました。

周りは野草の宝庫、なるべく自然のまま、かつ適度な手入れで、それらの恵みをいただく生活を目指しています。

みなかみ町議会 議長
やまだ しょういち
山田 庄一



6月議会において議会会議規則を改正しました。出産、育児、介護等に配慮し、全ての議員が存分に活動できるためです。議会は、より良い未来を築くために何ができるかを考えています。それは、町のみんなで取り組むものです。みなさんのご意見を広く聴くためには、ジェンダーや年代等に偏りのない議員構成が必要なのです。



4月臨時議会 あらかし

4月2日に臨時議会が開催された。人事1件、承認4件、報告3件、補正1件を審議した。

審議内容及び結果



固定資産評価員の選任

次の方の人事案に同意した。
佐藤 富士夫 氏（阿能川）



4月議会臨時会議案及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
報告	報告第1～3号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
承認	承認第2号	税条例等の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
	承認第3号	都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
	承認第4号	国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分報告	全会一致承認
	承認第5号	令和2年度一般会計補正予算（第9号）の専決処分報告	全会一致承認
人事	議案第28号	固定資産評価員の選任	全会一致同意
補正予算	議案第29号	一般会計補正予算（第1号）	全会一致可決



令和2年度 総額 183億9118万円

補正額 5968万円

歳出

新型コロナウイルスワクチン接種事業 5968万円

歳入

国庫支出金 5968万円

（端数処理あり）



令和3年度 総額 142億9800万円

補正額 1億9800万円

歳出

ファミリーリフレッシュ事業 800万円
地域の農林水産物利用促進事業 1000万円
ふるさと応援チケット事業 1億2000万円
愛郷ぐんま地域クーポン事業 5142万円
災害対策用物資配備事業 858万円

歳入

国庫支出金 1億6994万円
財政調整基金繰入金 2806万円

（端数処理あり）

6月議会 あらかし

1日から11日までの会期で6月定例議会を開いた。発議1件、報告10件、諮問2件、条例2件、その他4件、補正予算1件を審議した。一般質問は6人であった（7～13頁）。

審議内容及び結果

議会の流れ

- 6月1日 本会議
一般質問
- 6月2日 本会議
一般質問
議会全員協議会
- 6月3～7日 常任委員会
総務文教常任委員会
厚生常任委員会
産業観光常任委員会
- 6月8日 特別委員会
議会だより編集特別委員会
月夜野地区統合小学校の理想の教育環境検討特別委員会
- 6月9日 議会運営委員会
- 6月11日 本会議



人権擁護委員推薦の意見

次の方を人権擁護委員候補者に推薦することについて、適任との意見を付した。

渡辺 孝氏（新巻）
小野 達寿氏（阿能川）



総額 145億668万円

補正額 2億868万円

歳出

子育て世帯生活支援特別給付金事業 1583万円
電子地域通貨運営・活用事業 5165万円
愛郷ぐんま地域クーポン事業 1億1132万円
小・中学校学校管理事業（コロナ対策） 720万円
その他 2268万円

歳入

国庫支出金 5585万円
県支出金 1億1233万円
電子地域通貨チャージ収入 4000万円
財政調整基金繰入金 50万円

（端数処理あり）



陳情結果表

陳情件名			陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
陳情	第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	前橋市本町3丁目9-10 群馬県労働組合会議 議長 五十嵐弘幸	産業観光常任委員会（3月継続審査） 趣旨採択すべきもの	趣旨採択
	第3号	学校給食費の無料化を求める陳情書	みなかみ町下津4296番地 新日本婦人の会沼田支部 支部長 高橋芳子	総務文教常任委員会 継続審査	

町政を問う

一般質問 Questions

一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 石坂 武** いしざか たけし
①町内3こども園の現状と今後
②熊穴沢避難小屋付近にトイレ設置を
- 阿部 賢一** あべ けんいち
①健康維持対策
②エアコン設置補助事業の創設
- 窪田 金嘉** くぼた かねよし
①地方創生を考える
- 高橋 久美子** たかはし くみこ
①災害対応力を強化
②防災備品の土のう袋にSDGsの視点を
- 茂木 法志** もぎ のりゆき
①みなかみ町における凍霜害の状況と対策
②みなかみ町森林活用協議会の今後の方針
③令和3年度新型コロナウイルス対策事業について
- 鈴木 美香** すずき みか
①真沢ファーム交流施設の今後の利活用は
②『音』をコンテンツにした新たな観光資源の展開を

6月定例議会議案及び議決結果

	議案番号	議案内容	議決結果
発 議	発議 1 号	議会会議規則の一部を改正する規則	全会一致可決
	報告 4～7 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
報 告	報告 8 号	令和2年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告	
	報告 9 号	令和2年度下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告	
	報告 10 号	令和2年度水道事業会計予算繰越計算書の報告	
	報告 11 号	令和2年度一般会計事故繰越し繰越計算書の報告	
	報告 12 号	土地開発公社の経営状況の報告	
	報告 13 号	令和2年度町立月夜野中学校図書室新築工事請負変更契約の専決処分報告	
諮 問	諮問 2～3 号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	全会一致 適任との意見
そ の 他	議案第 30 号	道路メンテナンス補助事業町道藤原粟沢線藤原湖大橋橋梁補修工事の建設工事請負契約の締結	全会一致可決
	議案第 31 号	社会資本整備総合交付金事業除雪車（11 t 級）購入契約の締結	全会一致可決
	議案第 32 号	社会資本整備総合交付金事業除雪車（7 t 級）購入契約の締結	全会一致可決
	議案第 33 号	スクールバス購入契約の締結	全会一致可決
条 例	議案第 34 号	介護保険条例の一部を改正する条例	全会一致可決
	議案第 35 号	手数料徴収条例の一部を改正する条例	全会一致可決
補正予算	議案第 36 号	一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決



谷川岳インフォメーションセンター視察
環境省が谷川地域整備計画の中で建設を進めていた「谷川岳インフォメーションセンター」が完成し、オープン前の施設を見学した。
施設は谷川岳エリアの玄関口として山岳資料やバーチャルリアリティを備え、居ながらにして登山を体感出来たり、イヌワシ目線で空から谷川連峰を見られるなど最新の情報提供設備を整えている。
オープン後は谷川岳エコツーリズム推進協議会が運営し、谷川岳周辺の観光振興やエコツーリズムの拠点として活用される。



被害農家の視察
定例議会中に4月の数回にわたる低温の影響で大きな被害を受けた農家の現地視察を行った。この度の凍霜害はサクランボをはじめ果樹全般に及び、町の試算では4億円規模の被害額が予想される。
長引くコロナ禍、昨年の集中豪雨被害、そして凍霜害と農家にとっては厳しい試練の連続である。議会としても支援策を検討していきたい。

活動報告

産業観光
常任委員会

4月23日に谷川岳インフォメーションセンター、6月7日に管内の農家を視察。

被害農家の視察

定例議会中に4月の数回にわたる低温の影響で大きな被害を受けた農家の現地視察を行った。この度の凍霜害はサクランボをはじめ果樹全般に及び、町の試算では4億円規模の被害額が予想される。

長引くコロナ禍、昨年の集中豪雨被害、そして凍霜害と農家にとっては厳しい試練の連続である。議会としても支援策を検討していきたい。



石坂 武 議員

こども園に対する町の認識は

町長 子どもたちのための運営に努める

問 町内3こども園の公平公正に向けての認識については。

答 町長

町の将来を担う子どもたちの教育、保育の場として、同じ目的を持ち、運営をしなければと考える。

問 にはるこども園の民営化に向けての現状を伺う。

答 町長

教育施設等検討特別委員会の最終報告から10年超経過したが、決定に至っていない。

運営方法等再度検討したい。

問 3園での情報交換について伺う。

答 町長

公立・私立の違いはあれ、幼児教育を担う園が共通理解を深め、職員の資質向上は大変重要であり、3園合同の各種研修会を定期的に実施している。

談事業など行っている。

熊穴沢避難小屋付近にトイレ設置を

問 以前、町議の二度の質問に対し、当時の町長は、設置の必要性を認め、前向きに調査検討すると回答しているが、如何か。

答 町長

当時の町長が、まず優先して熊穴沢に山岳バイオトイレというようなもので、設置することを各方面と調整したいという回答をしたと認識している。

問 環境力宣言・町民憲章・ユネスコエコパークの理念から、垂れ流し状態の熊穴沢避難小屋付近にトイレ設置は必要と思うが如何か。

答 町長 各理念からすれば、快適な



熊穴沢避難小屋。この辺りから山頂へ向かっての一带はユネスコエコパーク核心地域。生物多様性を保全する重要地域です。

答 町長 今後も群馬県や環境省、山岳関係者などと連携を図り、山岳トイレ問題や快適な登山環境づくりに向け研究していきたい。

問 登山道の維持管理は必要と思う。ユネスコエコパークは、登録後10年経過時に取り組みについて、報告の義務がある。その点からも、大いに意味・意義があると思うが如何か。



阿部 賢一 議員

歩数ポイントの付与は

町長 何が出来るか検討したい

問 だれもが歳を重ねるごとに健康でいたい。そして、コロナ禍において運動する機会がないということ、ウォーキングや軽いジョギングをしている方を目にする。

MINAKAMI HEART Pay（みなかみハートペイ）に歩数に応じたポイントを付与しては。健康でいることは医療費の抑制につながり、町内の店に行くきっかけにもなるが。

答 町長

コロナ禍の中で運動不足解消のためのウォーキング等の取り組みは、健康維持に非常によいことだと思う。

町として何が出来るか検討し、出来ることから実施したい。



町の健康づくり教室。できる範囲でストレッチを。



お二人でウォーキング。道中の会話は心の健康維持にも。

エアコン設置補助事業の創設

問 コロナ禍において、自宅で過ごす時間が長くなった高齢者の熱中症対策の一環として、エアコン設置に助成事業を創設しては。

答 町長 意識して水分補給に心がけ、またエアコンを適度に使用することも有効である。

問 有効であるものを設置するのに助成事業の考えは。

答 町長 制度導入に向け研究して行く。

問 高齢者の方々はこの町を支えてきた人で、義務も果たしている。弱い立場の方々に目を向け、この事業を形にしてはどうか。

答 町長 今後に向けて研究させていきたい。





窪田 金嘉 議員

地方創生にどう向き合うか

町長 人口減少の克服と地域経済活性化

問 地方創生室を立ち上げた目的は何か。

答 町長 現状の社会情勢等に鑑み、町も地域づくり及び地域の活性化と一緒に考えて、多様な主体と協力、連携を強化していくため。地方創生室は7人体制で、第2期総合戦略事業の具現化に役割組織の扇の要役として取り組んでいく。

問 地方創生の意味とは何か。

答 町長 地方創生は、地方自治体が従前と違う初めてのことを実施していく、或いは他の自治体と違う初めてのことに取り組むという意味。

問 地方創生の「地方」とは誰を指し、「創生」の意味は。

答 町長 地方自治体を指し、「創生」では、初めて生み出すこと、初めてつくること。

問 地方創生の「地方」とは誰を指し、「創生」の意味は。

問 まち・ひと・しごと創生法第1条の中で人口減少に「歯止めをかける」とあり、地方創生のHPでは人口減少を「克服」とある。私の疑問は「克服」と「歯止めをかける」の違いが、進むべき方向性を変える可能性が出てくるのか。

るが、地方創生室が挑む課題は。

答 町長 まち・ひと・しごと創生法第1条の理解で、人口減少の克服と地域経済の活性化が目的。

問 地方自治体の責務とは何か。

答 町長 まち・ひと・しごと創生法第4条の通り、地域の実情に応じた自主的な施策を策定し実施するにあたり、町には責任と義務があり、果たすべき務めがある。

問 国は地方創生のHPに、「特徴的な社会を創生」とあるが、町の特徴は。また、町は「自律的で持続的な社会」をどのように創生するのか。

答 町長 国は地方創生のHPに、「特徴的な社会を創生」とあるが、町の特徴は。また、町は「自律的で持続的な社会」をどのように創生するのか。

答 町長 「特徴を生かした」とは、みなかみユニエスコエコパークの価値をさらに高めるまちづくりと考える。「自律的で持続的な社会」の取り組みは、町が主体となつて町以外の多様な主体と協力連携しながら、持続可能なまちづくりのため地場産業等の振興を支援する一層の経済活動を推進。

問 地方創生室が創設、これから地方創生にどう向き合っていくのか。

答 町長 地方創生の大きなゴールは、人口減少の克服と地域経済の活性化。町が定めた第2期総合戦略においても基本的には同じ。総合戦略に沿って、地方創生室を中心に全庁的に取り組んでいく。



高橋久美子 議員

災害頻発、気象専門家の活用は

町長 必要性感じる、総合的に研究

問 自然災害が激甚化、頻発する中、災害対応力を強化していくことは重要。危機管理室の具体的な取り組みの方向性は。

答 町長 災害発生時における防災情報配信システムの整備・普及。このシステムは、スマートフォンなどにアプリをダウンロードしていただくことが必要。多くの町民の方に利用して貰えるよう、周知、広報や操作説明会の開催などを重要課題として取り組む。

問 昨年、町内広範囲に及んだ豪雨や12月の豪雪など、町は今後想定される災害対応に、体制強化を図っていききたい。

答 町長 気象予報や災害に係る情報分析等が必要となる。気象防災アドバイザーなど専門職活用必要性は感じている。今後の状況等を踏まえ、総合的に研究をしていきたい。

土のう袋にSDGsの視点を

問 河川のごみ拾いの機会があった。河原の石ころの下

に土のう袋の端きれのようなものが、埋まっていた。災害のときに役立つ土のう袋だが、回収できるものもあれば、そのまま河川等に流れるものもある。当町として使っている土のう袋の材質は。

答 町長 再生材やポリプロピレン、ポリエチレン製。

問 海洋プラスチックごみの問題が深刻。SDGsという

と、目標14の「海の豊かさを守ろう」になる。管理されている土のう袋は正しく廃棄されるが、災害時に流出したものはレジ袋などのように、時間とともに劣化して、マイクロプラスチック化する。

当町は、源流の町であり、SDGs未来都市に選定された町とし

て、環境に配慮した製品の土のう袋に変えていく必要があると思うが。

答 町長 環境配慮型の土のう袋は、単価がおおむね数倍と、財政的には課題。のり面保護など撤去が不可能な場所には環境配慮型、浸水防止など一時的に利用するものは従来型で対応と、用途に応じて使い分けることは可能。SDGs未来都市として、試験的に使用するなど、検討していきたい。



放置された土のう袋。細かくちぎれるとマイクロプラスチックに。



茂木 法志 議員

重大な被害が予想される凍霜害対策は被害農家へ経費等の助成を準備

問

4億円以上の被害があるというところで、生産者の方の栽培意欲を維持させる取り組み等が必要になってくる。農漁業災害対策特別措置条例の他に町独自としての考えは。

答

町長 農家から防霜ファンの設置要望があれば、該当になる補助制度がある。その事務手続や設置場所の条件、調査などを支援していきたい。



凍霜害を受けたサクランボ

森林活用協議会の今後の方針は

問

今年度から自伐型林業のグループを中心とした、みな

かみ町森林活用協議会が発足。この協議会の今年度の活動内容

と今後のビジョンは。

答

町長 各地域で森林整備活動に取り組む9団体83人の皆さんと町で構成。みなかみユネスコエコパークの理念に基づき、町の美しい里山景観や豊かな森林環境の形成に向けた、森林の適正な利活用を推進することを目的としている。活動については、協議会長の副町長が説明する。

副町長

森林所有者と森林を活用したい人をマッチングする仕組みを構築する計画。町や林業関係者と連携

を図りながら、自伐型林業の担い手を育成し、森林資源の適正な利用による地域内経済の循環に向けた取り組みを行っていききたい。

問

マッチングはこれからの鍵。木材ステーションというような中間土場のような場所の整備も必要ではないかと感じる。そういった考えは。

答

副町長 森林資源の活用については、地方創生推進交付金や森林環境譲与税を使い、木材ステーションを設置したい。

切り出した木材の集積、選別、備蓄、出荷、販売など、一連のサプライチェーンが確立するような拠点整備を行い、自伐型林業の担い手育成やユネスコエコパークやSDGs未来都市に関



森林活用協議会の活動。自伐型林業の研修や協議会員の安全技術講習会などが予定されています。

する取り組みの普及啓発、木育、環境教育を推進していくための研修会場、体験会場を整備するほか、森林資源環境を教育に推進するための一元的な拠点及びそれに伴う必要機材等も整備したい。



鈴木 美香 議員

真沢ファーム交流施設の今後は実証実験事業として行う

問

この施設は、いつ、どのような目的で作られたのか。

答

町長 平成9年度に建設。平成10年5月13日に開業。農林業の振興及び観光の健全な発展を図るため、都市と農村の交流の場として設置。

問

設立に当たって費用経費は。

答

町長 国の山村振興等農林漁業特別対策事業と県の特定農山村地域活性化対策事業の補助金を受け、3億3千150万円で設置。老朽化が進み、平成28年度以降の改修費が約6千万円。

問

指定管理者契約というのは、基本協定では3年。契約期間を残し閉館した経緯は。

答

町長 当初計画していたとおりの

集客が見込めず、新型コロナウイルス感染症拡大により管理運営が困難となり、令和2年9月30日付で協定を解除し、10月より休館。

問

閉館中の施設の管理は。

答

町長 担当職員が定期的に点検。配管凍結防止のための循環を行う必要があった。施設の状況を熟知した近隣の関係者にご協力をいただいた。

問

再開の見込み、目的、取り組みについて。

答

町長 宿泊と日帰り温泉の運営に加え、中長期的に滞在できるワーケーション、テレワー



真沢ファーム交流施設

問

クの導入や移住・定住、起業・創業の創出につながる利活用。指定管理契約ではない理由

答

町長 コロナ禍の影響や現状の施設形態では、指定管理者の選定が難しい。

問

営業方針は。

答

町長 日帰り温泉や宿泊客を受け入れるスタイルに加え、全国14拠点到サブスクリプション方式で運営を行う企業と連携し、他の登録施設のネットワークを活用する。

問

町長 地域産業との関わりは。施設内で地場産品

を活用した地産地消メニューを提供。町内周遊及び観光PRを含めた活動も行っていく予定。

問

料金設定は。

答

町長 回数券などの料金も従来どおりに取り扱っていく。

問

「音」の観光資源化

町長 観光素材として「音」が注目されている。このトレンドに反応するスピード感を、期待したいが。

答

町長 デジタルマーケティングの取り組みとして、約50本の動画をユーチューブサイトから国内外に配信。観光協会や観光関係者とともに、取り組んでいる。今回のご提案について検討、研究をさせていただきます。



町の お宝紹介

素晴らしいこの町を町民の皆さんと一緒に大切にしていきたいため、議会発で町にある「お宝」を再確認するコーナーです。
「この町には、いろいろある。何もないことない。」
このコーナーでは、皆さんからの情報もお待ちしております。
町のお宝をご存じの方は是非ご一報ください。

きのこ園でヘラクレスオオカブト

子どものころ昆虫図鑑を見て、その大きさに驚いた南アメリカの熱帯に生息するヘラクレスオオカブトが後閑地区にある月夜野きのこ園で飼育されています。

昆虫事業について、社長の金子崇範氏に伺いました。



金子氏と昆虫飼育用の「マット」

二十数年前にお客様から「オオクワガタの飼育用にキノコの菌床がほしい」と問い合わせがあり、それをきっかけに始めた昆虫事業。金子氏ご自身は、幼少の頃、ラジオ体操の帰り道に野山でクワガタやカブトムシを捕って飼育していたくらいで、昆虫ビジネスは専門外でした。お客様に教えてもらいながら飼育用菌床の生産・販売事業を開始。当初、販売価格をたたかれたことから、幼虫が大きく育つという実績が必要と考え、自ら会社のHPにお客様が幼虫の成長や感想などを書き込めるように工夫しました。若かりし頃ミュージシャンとして、パソコンで作曲していたことが役立った



ギラファノコギリクワガタ



ニジイロクワガタ

そうです。飼育用菌床が徐々に評判となり、ネット通販の口コミで1位を獲得するまでになり、生産量も増えました。

その後、昆虫ブームには波が

ありました。飼育用菌床に加え、オオクワガタやヘラクレスオオカブトの飼育と販売も始め、ピーク時は30種もの昆虫を扱うまでになりました。

ここ数年は「虫好きな社員」が県外からも入社しているそうです。金子氏はその社員の高いスキルを活かし、昆虫館を作りたいと考えています。虫取りをしたい子どもや、体験をさせたい親のために、拠点となる施設を作り、標本の作り方や卵の産ませ方等をレクチャーしたり、情報発信ができる場所にしたいと抱負を語ってくれました。



この中で幼虫が育っています。

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。
★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加の きまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会への伝言を記入し、お送りください。
※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑 318
みなかみ議会だより

「ふるさとクイズ・ご意見」係

締切：2021年8月31日（当日消印有効）

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

ふるさと クイズ

問題

表紙の昆虫の名前は？

- ㊦ ヘラクレスオオカブト
- ㊧ ペラクレスオオカブト
- ㊨ ペラクレスオオカブト

前回の議会だより 66号ふるさとクイズの正解は『㊨ ユビソヤナギ』でした。

群馬県利根郡みなかみ町後閑 318

みなかみ議会だより

「ふるさとクイズ・ご意見」係

3 7 9 1 3 9 0

料金受取人私郵便
沼田局承認
865

差出有効期間
令和5年3月
31日まで
(切手不要)

記入欄は裏面にあります



放流中の藤原ダム



皆さんの
おたより

ハガキの方は、この線で切り取り
内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇨ _____

○差出人住所 ⇨ 〒 _____

○差出人氏名 ⇨ _____
(ふりがな)

○年代 ⇨ ・～10代 ・20代 ・30代
(該当項目に○印を付けてください) ・40～60代 ・70代～

○議会への伝言

のりしろ

のりしろ

のりしろ

議会傍聴のご案内

傍聴は、どなたでもできます。ただし、当日議場入口で受付を済ませてからご入場ください。

…………… 流 れ ……………

- ①受付にて「受付表記入（住所・電話番号・氏名・年齢）」
- ②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
- ③傍聴席へ
- ④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了

※注意／飲食・録画・録音・写真撮影は禁止。

次回の定例会は

**9月 7日（火）～
9月17日（金）の予定。**

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局

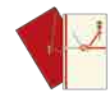
☎25 - 5023

議会だより編集特別委員会

委員長…阿部 清
副委員長…鈴木 美香
委員…窪田 金嘉・本多 公保
高橋久美子・森 健治
中島 信義
編集アドバイザー
利根川太郎
編集モニター
利根商業高等学校生徒

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、下記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるようなことも禁止されています。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。



秘書などが代理で出席する場合の結婚祝



入学祝・卒業祝



町内会の宴会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ



お祭りへの寄付や差し入れ



秘書などが代理で出席場合の香典



葬式の花輪・供花



落成式・開店祝の花輪



お歳暮やお年賀



地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

よせられた声



70代



ユビソヤナギに関心を持っていたところ、今回取り上げていただきました。
湯松曾川を散歩される方が、川の美しい流れとヤナギに囲まれることを期待しています。

(湯松曾)

70代



新潟県に向かう時、ごみがとても気になります。ユネスコエコパークに登録されているのに、こんなに汚くてよいものか。
町民でごみ拾いをしなくなったのなら「ごみを捨てない」規制を作りませんか。たとえばごみは必ず持ち帰る等、何か考えてほしいです。

(布施)

40代
60代



町民ひろば移住定住シリーズを読んでいます。この地に生まれ育って、ずっと住んでいると、不便で不自由なことがばり目についてくる。
移住定住した人達の話を見聞きすると、みなかみの良さを再発見することが出来る。町の印象を何とも風情良く表現していて感動した。
交流会が出来たら楽しいと思う。

(阿能川)

編集モニターアドバイス 利根商生徒会

「66号よせられた声」に、10代から30代の声を載せるべきではないでしょうか。

編集委員も若い方々のご意見を掲載したいのですが、残念ながら投稿がないのです。この議会だよりが、若い方に読まれるよう、ご意見を寄せてもらえるよう、変わっていかなければなりません。モニターの皆さんをはじめ若者の皆さん、どのような紙面なら町議会に興味を持ちますか？ **ぜひご意見をお寄せください。**



みなかみ、いいじゃん！を届けたい



まえだ
前田 雄大さん 37歳(須川区)

さゆり
小百合さん 44歳

通勤についても、東京駅まで1時間
ちよつとで着くし、必要なものはネッ
トで揃う。食料品は新鮮で安い野菜が
近所で買えるし、いいこと尽くめだ。

——町を知ったきっかけ
温泉やスキーなどを楽しみに、月一
回の頻度で町へは何度も訪れていた。
——なぜ、移住を？

雄大さんは千葉県、小百合さんは
北海道のご出身。

みなかみ町と都心、二つの拠点を
持つご夫妻を紹介します。

みなかみにすごい魅力を感じていた
ので、いつかは住みたいと思っていた
が、たまたま良い立地に売地が出たの
で思い切った。人間らしい環境で暮ら
したいという思いに合致したのが大き
い。子育ての環境としても素晴らしい
と感じた。



前田さんご一家

——町の印象は

自然があふれ、四季を感じられ贅沢。
しかも都心へ通えるし、なぜ人がもつ
と移り住まないのだろうと思う。こん
な贅沢があることを知らないのでは。
移住してきたとき、地元の方から「東
京でなくていいの?」と言われたが、
きつと町の皆さんも、当たり前すぎて
この贅沢に気づいていないと感じた。

——住んで良かったことは?

時間の流れがゆっくりしていてリ
ラックスできる。仕事柄、四六時中、
PCや携帯に縛られていたことを考え
ると、ここに住んでみて、これが人間
の生活だと思った。

——提案されたいことは?

過度に過疎化が進展して活力がなくな
ってしまつと、いくら土地に魅力があ
っても人は移住の選択を取らなくな



ネギ収穫!

と思う。この町は高速道路と新幹線
が通り、都心へのアクセスもあるのに、
自然も豊かな稀有な場所。移住を考え
る人に選ばれる条件は揃っている。活
力のあるうちが勝負。

ただ、潜在的移住のニーズのあると
ころに情報が届いていないのだと思う。
効果的な広報戦略が必要だ。例えばS
NSは勝手に個人がPRしてくれるし、
拡散力もある。そつしたものを通じて、
情報がちゃんと届けば「みなかみ、い
いじゃん」と評価される。それを、ど
う作り出すかだと思う。

みなかみには現代の都会に疲れた人
が求めるものがある。それが届かない
のはもったいない。

また、都心へのアクセス、地震に強
い点など含め事業安定継続性を考えれ
ば企業にとつても候補になりうる。誘
致の仕組みを整え、みなかみへ移転等
したケースが1件でもあれば、それに
続く企業が出るのでは。

編集後記

今回の特集はSDGsです。

SDGsは、「誰一人取り残さな
い」持続可能な社会の実現を目
指しています。持続可能なまち
づくりや地域活性化に向けた取
り組みを推進するに当たって、
第2期「まち・ひと・しごと創
生総合戦略」において、横断的
な目標2「新しい時代の流れを
力にする」という項目が追加さ
れました。まさに、この目標がS
DGsです。

我々議員も、SDGsを踏ま
え、人口減少、少子高齢化、財
政難など、従来からの課題の解
決とコロナ後の「新たな生活様
式」の構築に向けた取り組みを
推進していきたいと思っています。

(窪田金嘉)